

# セメント系無収縮モルタル DSマスモル

プレミックスタイプ

低発熱 低乾燥収縮

**D** 株式会社 大 東

## 特長

- 1 低発熱性 部材の温度応力が低下するので、施工段階における温度ひび割れを抑制します。
- 2 低乾燥収縮 乾燥に伴う収縮が少なく、脱型後のひび割れ発生が起こりにくくなっています。
- 3 無収縮性 ノンブリーディング性であり、かつ膨張収縮率がほぼゼロ(水和収縮がない)であるため、充填後に構造物との一体化が図れます。
- 4 高流動性 高流動性と優れた自己充填性を有し、間隙を容易に充填します。
- 5 強度発現性 低発熱型にもかかわらず、安定した強度発現性があります。

## 適用

- とう道標準部及び特断部・立坑
- マンホール側壁・床 など

## 用途

- 劣化部補修 型枠設置(側壁・天井・柱・桁など)
- 機械基礎
- 歩床部流し込み補修
- 可とう継手等の躯体補修
- 構造物補強・耐震補強(とう道坑口補強、柱・壁・天井増厚、スティック部型枠充填など)

## 標準配合

<1袋(20kg)当たりの標準配合>

項目 製品	適用温度範囲 (°C)	静置フロー値 混練直後(mm)	水/材料 (%)	質量(kg)		練上り量 (ℓ/袋)	1㎡当たり の使用量
				材料	水		
DSマスモル	5~35	130~180	14.0	20	2.8	10	100袋

## 使用方法

### 1 準備

#### a) 材料・道具

- DSマスモル、清浄な水、攪拌容器等
- モルタル専用高速ミキサー ※アルミ合金製は使用不可

#### b) 施工部の前処理

- 金属部やコンクリート部の油分や汚れを除去して下さい。
- 躯体にQRプライマーを塗布して下さい。

### 2 練り混ぜ

- 攪拌容器に所定量の水を入れ、DSマスモルを徐々に投入しながら攪拌して下さい。
- 本練り: 粉体材料全量投入した後、3分間練り混ぜて下さい。

### 3 施工

- 充填時に巻き込み空気や未充填部が残らないように処置を行って下さい。

### 4 養生

- 施工後は必ず養生を行って下さい。露出部分は急激な乾燥等によりひび割れが発生することがあります。
- 脱型は打ち込み後3日以降に行ってください。